

昭和38年度例会

例会には第1部と第2部とがあります。

第1部 一般研究発表

第2部と同じ日に行なわれます。希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して
東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 あて申し込むこと。

第2部 選定題目講演会

つぎの日程に従って行なわれます。講演申込と詳細の照会はそれぞれの受持委員にして下さい。

主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員	主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員
豪 雨	6月	4月25日	予 報 課：石原	太陽活動、放射	(昭和39年) 1月		長期予報：朝倉
乱 流	6月	4月25日	測 器 課：清水	気 候	1月		長期予報：朝倉
山の気象	6月	4月25日	予 報 課：奥山	気象電気	1月		気 象 研：今井
水収支	7月	5月25日	予 報 課：石原	レーダー気象	2月		気 象 研：今井
高層気象	7月	7月9日	高 層 課：関口	測 器	2月		測 器 課：清水
気象学史と気象教育	8月	6月20日	気 象 研：渡辺	長期予報	2月		長期予報：朝倉
生 気 候	9月	7月20日	気 象 研：神山	数値予報	2月		気 象 研：相原
気象災害	10月		気 象 研：渡辺	融 雪	2月		予 報 課：石原
気象統計	10月		長期予報：朝倉	メソ気象	3月		気 象 研：渡辺
大気汚染	11月		気 象 研：神山	豪 雪	3月		気 象 研：相原
風のシンポジウム	11月		測 器 課：清水	航空気象	3月		東京航気：上松
台 風	12月		気 象 研：相原				

7月の例会

水気象(水気象)

主題：水気象(水収支)

会期：昭和38年7月11日(木)

会場：予報部会議室

第2部講演題目(主題関係)

1. 正務章, 久保青島(東京管区)：降雨と直接流出との関係の客観的解析(20分)
2. 石原健二(気象庁)：積雪水量の計算法(25分)

シンポジウム：水収支に関するシンポジウム

話題提供者：未定

司 会 者：未定

高層気象

会 期：7月11日(木)

会 場：気象庁第一会議室

講演題目：高層気象シンポジウム

申 込 先：気象庁高層課 関口理郎

切期日：7月9日

9月例会の研究発表募集

主 題：生気候「ゼン息と気象との関連」

会 期：9月28日

会 場：東大医学部中央館

申 込 先：東京都杉並区馬橋気象研究所 神山恵三

切期日：7月20日

日本気象学会創立八十周年記念号

いよいよ発売

特集日本の天気(各地の天気)

目 次

北海道太平洋岸の霧	唐津 進, 増沢 昇, 沢田 昭夫
東北地方の夏季の低温	斎藤 実, 荒川 正一, 孫野 長治(1-28)
北陸不連続線による豪雪について	和田 英夫, 安藤 正次, 松倉 秀夫(29-54)
関東の雷雨	川本 敏夫, 宮沢 清治, 藤田 兼吉(56-70)
関東地方の北東気流	島山 久尚, 北沢 貞雄, 野島 弘(71-80)
局地風(山越え気流)	瀬下 慶長(81-91)
九州付近における不安定線	山本 主夫(92-111)
	岡村 存(112-126)

希望者は至急申し込み下さい。